

# オーライ！ニッポンとふるさとプロボノ



2025年6月11日（水）17時～18時

## プロボノで課題解決の 船出をしてみませんか？

オンラインのみ、参加無料

### 主な内容

1. オーライ！ニッポン大賞とはどんな賞？  
・主な対象とこれまでの受賞者の特長？
2. ライフスタイル賞とは何？
3. 応募書類のポイントをお教えします。
4. 応募特典であるのふるさとプロボノとは？  
・ふるさとプロボノで何ができますか？  
・応募したら全員特典をもらえますか？
5. 今後の予定
6. 質疑応答、意見交換

説明者：（一財）都市農山漁村交流活性化機構  
ゲスト：特定非営利活動法人サービスグラント

# 都市と農山漁村の共生・対流 オーライ!ニッポン



「オーライ!ニッポン会議」のPR用うちわを手にする小泉首相と  
養老代表(右)、平野副代表(7月31日、首相官邸で)



往来とall right

オーライ!ニッポンは、都市と農山漁村を人々が活発に「往来」し、双方の生活文化を楽しむことで、日本がall right (健全) になることを目指した取り組み

設立 2003(平成15)年6月23日



# オーライ!ニッポン会議代表

都市と田舎の関係は、個人でいうなら、頭と体の関係になります。「心身ともに健康」とよくいいますが、いまの日本は心身の健康が危ぶまれる状態ではないかと思います。

頭が先になって、体が衰えているように見えるからです。「都市と農山漁村の共生・対流」という考え方が、そうした傾向を変えて、日本を心身ともに健康な国にしてくれることを期待しています。

ともあれ、まず身近な所から、都市と田舎の交流をすすめるようではありませんか。



オーライ!ニッポン会議 代表 養老孟司  
(東京大学名誉教授)



# オーライ!ニッポン大賞

ほんの一例ですが、次のような  
都市と農山漁村の共生・対流の取組の対象です



①エコツアーや農山漁村生活体験教育旅行の受入



②祭りなど都市学生等との交流で活性化



③公民館活動や自然や農林漁業体験、農山漁村生活文化による国際交流の推進



④ワーキングホリデーなど農林漁業体験



⑤食伝統文化を活用した高齢者と若者の交流



⑥山村留学や自然学校等の子ども受入



⑦田舎暮らしの実践研修、森林、耕作放棄地などの企業の社会貢献活動や人材育成



⑧地域農林水産物を活用した農林漁家の6次産業化と交流事業の取り組み



⑨農産物直売所・農家民宿・農家レストランによる交流活動の取り組み

# 第20回オーライ！ニッポン大賞

募集中！



森林ボランティア

ありのままの農山漁村生活の体験

グリーン・ツーリズム

教育旅行、  
体験学習

棚田ボランティア

プロボノ  
農家民宿

地域おこし協力隊

自然体験・  
エコツーリズム

農村RMO

SDGsなコミュニティ  
・ビジネス

廃校活用

半農半X

農家レストラン

田舎暮らし

古民家、ゲストハウス

ワーケーション

オーライ！ニッポン大賞は、都市と農山漁村の交流の取組すべてが対象です。

たとえば、グリーン・ツーリズム、企業・大学等の社会貢献、コミュニティ活動、2地域居住や定住の促進、起業と雇用（農林漁家民宿・レストラン等）、環境保全（棚田や里山・里海など）、教育（体験型教育旅行、キャリア教育、環境教育等）、農商工連携、伝統文化や食文化の発掘・保全・活用、農業と医療福祉との連携、等々

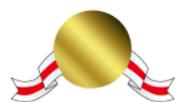
◆募集の対象は、「オーライ！ニッポン大賞」（主に組織・団体）と「オーライ！ニッポン ライフスタイル賞」（主に個人）の2種類。第18回は、元地域おこし協力隊員の水野裕之さん（愛媛県宇和島市）が、第17回は、埼玉県から移住し元気に楽しく暮らす様子の漫画をInstagramへ投稿し夫が生産する牡蠣の通信販売の購入者数を増大させた岡山茉莉さん（京都府舞鶴市）がライフスタイル賞を受賞されました。その他第15回にも地域おこし協力隊着任から当地にとどまり活躍中の方々が複数受賞されました。

## 募集の対象・表彰の種類

副賞として下記の金額を（一財）都市農山漁村交流活性化機構より贈呈されます。

# オーライ！ニッポン大賞

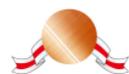
都市と農山漁村の共生・対流に関する優れた取組  
個人でも団体でも応募できます。団体は法人格の有無を問いません。



グランプリ（内閣総理大臣賞・申請予定）1件 副賞 15万円



オーライ！ニッポン大賞  
3件程度 副賞 5万円



審査委員長賞  
数件 副賞 3万円

3つの部門（部門は重複して応募できます。）

### 学生若者かつやく 都市のチカラ

30代くらいまでの若者の活躍  
や都市側からの働きかけによって  
推進されている活動



### 交流イノベーション 部門

新型コロナウイルス禍により、新  
たにはじめられた農山漁村支援  
の取り組み等



### 元気な農山漁村 部門

主に農山漁村側からの働きかけ  
によって推進されている活動



オーライ！ニッポン大賞は、都市と農山漁村の交流の取組すべてが対象です。様々な分野からの応募をお待ちしています。たとえば、グリーン・ツーリズム、企業・大学等の社会貢献、コミュニティ活動、2地域居住や定住の促進、起業と雇用（農林漁家民宿・レストラン等）、環境保全（棚田や里山・里海など）、教育（体験型教育旅行、キャリア教育、環境教育等）、農商工連携、伝統文化や食文化の発掘・保全・活用、農業と医療福祉との連携、関係人口を創出する取組、テレワーク、サテライトオフィス、ワーケーション、SDGs等。

## オーライ!ニッポンライフスタイル賞

U J Iターンにより都市部から移住するなどして、農山漁村地域で魅力的なライフスタイルを実践している個人

5 件程度 副賞 3 万円

たとえば...交流イベントや古民家活用等を通じて 移住者や交流人口の増加に貢献している人。農山漁村の地域資源を活かして起業（民宿、レストラン、体験ビジネスなど）している人 半農半X 等。



### 募集要領と応募用紙

都市農山漁村交流機構のホームページからダウンロードできます。インターネットに接続できない方には、ファックスまたは郵送でお送りしますので、事務局までご依頼ください。

## オーライ!ニッポン会議

2003年（平成15年）6月23日 設立  
都市と農山漁村に住む人々の相互の交流を盛んにして、お互いの生活や文化の良いところを取り入れて充実したライフスタイルを作り上げ、都市と農山漁村の間で「人・もの・情報」が循環（共生・対流）する社会を創り出すことで、ゆとりある生活や経済の活性化を図ることを目的とする。

オーライ!ニッポン会議はまちとむらの往来を応援します



養老孟司 代表



安田喜憲 副代表



平野啓子 副代表



## 第19回 オーライ!ニッポン大賞の決定について 2023年5月19日

表彰式については、7月13日に品川フロントビル会議室で開催

### 第19回オーライ!ニッポン大賞 受賞者一覧

#### 【オーライ!ニッポン大賞グランプリ】内閣総理大臣賞 1件

- ・特定非営利活動法人グリーンウッド自然体験教育センター (長野県 泰阜村)

#### 【オーライ!ニッポン大賞】3件

- ・下川町産業活性化支援機構 (タウンプロモーション推進部) (北海道 下川町)
- ・特定非営利活動法人 遠野山・里・暮らしネットワーク (岩手県 遠野市)
- ・一般社団法人東彼杵ひとこともの公社 (長崎県 東彼杵町)

#### 【オーライ!ニッポン大賞 審査委員会賞】3件

- ・特定非営利活動法人明日香の未来を創る会 (奈良県 明日香村)
- ・有田川町×龍谷大学 (和歌山県 有田川町)
- ・農事組合法人ながさき南部生産組合 (長崎県 南島原市)

#### 【オーライ!ニッポン ライフスタイル賞】5者

- ・瀬崎 真広 (セザキ マサヒロ) さん (東京都 江戸川区)
- ・牛田 光則 (ウシダ ミツノリ) さん (新潟県 上越市)
- ・三瓶 裕美 (サンベ ヒロミ) さん (島根県 雲南市)
- ・國田 将平 (クニタ ショウヘイ) さん (広島県 広島市)
- ・山中 裕加 (ヤマナカ ユカ) さん (愛媛県 西条市)

受賞団体の概要は、下記のサイトからご覧ください。(PDF)

<https://www.kouryu.or.jp/information/19thohraiawards.html>

#### 4 表彰の種類及び副賞

表彰の種類及び副賞は次のとおりです。

副賞（賞金）は、一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構から贈呈されます。

表彰の種類	件数	副賞
オーライ！ニッポン大賞グランプリ（内閣総理大臣賞を申請予定）	1件	15万円
オーライ！ニッポン大賞	3件程度	5万円
オーライ！ニッポン大賞審査委員長賞	数件	3万円
オーライ！ニッポン ライフスタイル賞	5件程度	3万円

# 審査の基準 ①オーライ！ニッポン大賞

新規性	農山漁村地域を舞台に新ライフスタイルの提案、普及の取り組み
独自性	地域固有の資源や個性を活かした、オリジナリティ豊かな取り組みであること。
持続性	法人化や収益向上等により持続性の高い取り組みであること。
モデル性	他地域への応用や波及が期待できるモデル性の高い取り組みであること。
効果性	農山漁村地域を活性化する効果があり、今後も効果が持続して発現すると見込まれること。
社会性	地域の内外の多様な主体が参加連携し、地域の課題解決に取り組んでいること。

## 審査の基準 ②ライフスタイル賞

新規性	農山漁村を舞台に新たなライフスタイルの実践
独自性	個性的で魅力のある活動であること。
継続性	新たなライフスタイルの実践に継続性があること。
モデル性	新たなライフスタイルが他の人の参考となるものであること

## オーライ!ニッポン大賞への応募用紙への記入の手引きをいたします。

最も重要なのは『7 活動の詳細』です。この活動の詳細は、①活動の目的、②主な活動内容 ③活動の成果及び効果、④マスコミ紹介及び過去の受賞歴についての4項目です。

### 7 活動の詳細

#### ① 活動の目的

組織の目的、なぜその活動を行うようになったのか。誰がいつ始めたか。等々

#### ② 主な活動内容（都市と農山漁村の交流活動を中心）（なぜ）（誰が）（いつ）

（どこで）（何を）どのように、実施しているかを記します。

#### a.地域の概況

例えば、〇〇県の北部、山村地域で、農業は〇〇が盛ん、近年は少子高齢化、後継者不足のために、耕作放棄地が増加している云々と地域の概要を説明

b.このままでは、地域がなくなるという危機感を持ち、〇〇会を発足させ〇〇をすることにしたなど取り組みの目的を記し、〇〇会発足から現在までの主な出来事、事業などを時系列に整理するとわかりやすいです。

**C.②の出来事、事業について、具体的な展開を説明します。**・子どもの教育旅行の受入ならば、どの地域のどの学校とどのような体験を提供しているか、また具体的な体験プログラム内容やプログラム数、受け家農家数の数値で概要を示せるものがあれば示します。

・〇〇オーナー制度ならば、毎年〇月に参加者募集を行い、〇月〇〇、〇月〇〇、〇月〇〇、〇月〇〇というように活動とスケジュールを記します。

・田舎暮らしに関する講座やワークショップなどは、どのようなプログラムなのか内容とともに、参加者の募集方法やどのような参加者が参加しているなどその取り組みの様子を明らかにします。受け入れている地域の人々の喜びや都市の子どもたちの自然や農業に対する感動の様子など人と人とのふれあいを通じて、双方が元気に生き生きとされている様子があるとより魅力的です。

### ③ 活動の成果及び効果

成果は、自分たちにとってどのような成果があったか。効果は、活動によって、他にどのような影響を与えているか等

### ④ マスコミ紹介及び過去の受賞歴について

※特に受賞歴がない場合でも応募可能です。

この後、応募の特典である「ふるさとプロボノとの連携」について、希望の有無と具体的な連携の内容を記します。なお、「ふるさとプロボノとの連携」を希望しなくても応募は可能です。

## 8. ふるさとプロボノの実施を希望しますか？

はい・いいえ

★ふるさとプロボノ実施を希望する方は依頼したい作業内容等をできる限り具体的に記してください。

★自己の取組について、外部からの支援が必要な事情や、将来ビジョンがあれば記してください。

### その他、★参考資料の添付について：

応募内容の様子が分かる資料を1点ご提供下さい。例えば、応募内容の補足、応募内容が紹介された記事、応募内容に関連するパンフレット等。コピーやデータ可です。

★写真の添付について：応募された活動内容に関し、ライフスタイルや活動の様子が具体的に分かる写真をご用意ください。

枚数は5枚程度に絞り込んでください。

解像度の高い鮮明な写真で（データの場合は

1枚当たりの容量が1MB～3MB程度）、ライフスタイルの魅力が伝わるものをお送りください。

また、応募者本人が写っている写真を含めてください。



② 主な活動内容のつづき

c.②の出来事、事業について、具体的な展開を説明します。例えば、子どもの教育旅行の受入ならば、どの地域のどの学校とどのような体験を提供しているか、また具体的な体験プログラム内容やプログラム数、受け家農家数の数値で概要を示せるものがあれば示します。例えば、〇〇オーナー制度ならば、毎年〇月に参加者募集を行い、〇月〇〇、〇月〇〇、〇月〇〇、〇月〇〇というように活動とスケジュールを記します。また、田舎暮らしに関する講座やワークショップなどは、どのようなプログラムなのか 内容とともに、参加者の募集方法やどのような参加者が参加しているなどその取り組みの様子を明らかにします。また、取り組みの説明に、受け入れている地域の人々の喜びや都市の子どもたちの自然や農業に対する感動の様子など人と人とのふれあいを通じて、双方が元気に生き生きとされている様子があるとより魅力的な内容になるかと思いません。

③ 活動の成果及び効果

●●●● (体験講座)  
●●●●地域にて●●●●参加プログラムをこれまで約●●●●回実施。のべ参加人数●●●●人  
(参加者のほとんどは東京圏からの参加であるが、その他、地方の大学生や企業の参加がありました。また、これまでは、アメリカ、フランス、中国出身者も参加しています。リピート率はおよそ2割です。新型コロナウイルス感染症の拡大により2020年度は体験講座を中止にせざるを得ず、その代わり始めた当該地域の特産品販路開拓支援のネット通販には、かつての講座参加者の多くが支援の意味も込めて購入や紹介の手伝ってくれました。さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大により、リモートワークが推進されていることから2度目の緊急事態宣言が出る前に、当該地域にリモートワークの滞在をお試りする参加者も現れており、関係人口の創出の機会としても、当プログラムが貢献することができたと感じています。) 地域農業のリーダーの●●●●さんの指導と地域の人々との協働作業への参加機会を得ることができて、まだ大きな成果が出ているとは思いませんが、これまで、農業や森林について関心をもつ機会が少なかった〇〇市の子供たちや親御さん、学校関係者にもイベントなどに参加していただき機会も増え、一緒に農作業を行った後の食事会などを通じて、今後の取組への協力も得られることができました。  
また、企業や都市部の福祉関係者からの農業イベントへの参加要請や協力依頼も徐々に増え、地域の農家お母さんたちのグリーン・ツーリズムの出番も増えてきています。新型コロナウイルス感染症の拡大により、高齢者の多い農山漁村地域では、本体験講座も一時中止、延期していましたが、一部の参加会員とともに作業した農産物のネット通販なども好評をいただき、終息後の農作業を楽しみにまわっていただいております。また2023年からは、新たに始めた企業向けの人材育成のための農業キャンプが好評をいただき、現在は、複数社のオリジナル講座の開発や耕作放棄地を活用した新たな農業プロジェクトを協働で運営するための企画を進めています。

- 「試行期間」  
・2015年、第1期体験講座 春プログラム名●●、夏プログラム名●●、秋プログラム名●●  
「本格実施」  
・2017年、第2期体験講座 プログラム名●●●● (年間を通じて5回実施)  
・2018年、第3期体験講座 プログラム名●●●● (年間を通じて5回実施)  
・2019年、第4期体験講座 プログラム名●●●● (年間を通じて5回実施)  
・2020年、第5期を実施する予定であったが新型コロナウイルス感染症の拡大により感染拡大を避けるために中止 以降21年、22年はプログラムの見直しや新たな体験希望者のぼり興し等を専念  
・2023年、第6期を体験講座 プログラム名●●●● (年間を通じて5回実施)  
・2024年、第7期を体験講座 プログラム名●●●● (年間を通じて5回実施)

③ 活動の成果及び効果は、成果は、自分たちにとってどのような成果があったか。効果は、活動によって、他にどのような影響を与えているか等、都市との交流により地域が元気になったり農産物づくりに、都市の参加者が地域の農業を知る機会になり、自分たちもやる気が増加したなどの主観で感じたことも書いてください。

④ マスコミ紹介及び過去の受賞歴については、※ 特に受賞歴がない場合でも応募可能です。

④ マスコミ紹介及び過去の受賞歴について (過去に受賞した、あるいは新聞、雑誌、テレビ番組等、メディアに紹介されたものがあれば、番組名、見出し等をお書きください。)

受賞歴は特に無し  
〇〇新聞2018年12月 (「〇〇〇〇〇〇」〇〇〇〇で、〇〇〇〇が〇〇〇)  
〇〇新聞2020年8月 (「〇〇〇〇〇〇」〇〇〇〇で、〇〇〇〇が〇〇〇)  
〇〇新聞2023年6月 (「新型コロナウイルス感染症にも負けない」〇〇〇〇が〇〇〇〇で〇〇〇)  
〇〇ラジオ2024年5月 〇〇〇〇の活動好調  
〇〇WEBマガジン2025年1月 こんな時代だから自然や農業体験で将来に備える〇〇〇〇

(関連写真の貼り付け)



写真1. 実践している農場

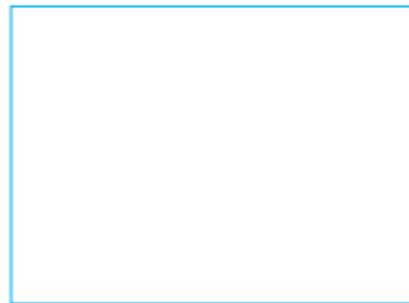


写真2. 体験における農業の説明をする農業リーダーの●●●●さん

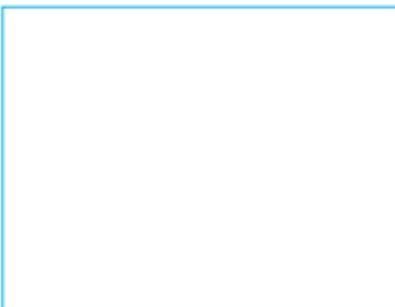


写真3. コロナ禍により講座を中止したため、新たに取組んで、特産開発とネット通販の様子

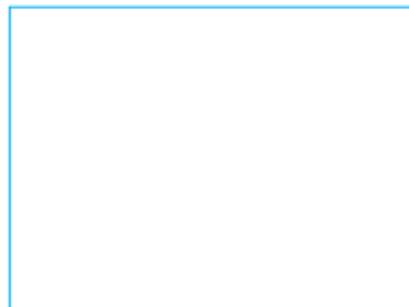


写真4. 新たに始めた企業向けの人材育成のための農業キャンプの様子

★参考資料の添付について：応募内容の様子が見分かる資料を1点ご提供下さい。例えば、応募内容の補足、応募内容が紹介された記事、応募内容に関連するパンフレット等。コピーやデータ可です。  
★写真の添付について：応募された活動内容に関し、ライフスタイルや活動の様子が具体的に分かる写真をご用意ください。枚数は5枚程度に絞り込んでください。解像度の高い鮮明な写真で(データの場合は1枚当たりの容量が1MB~3MB程度)、ライフスタイルの魅力が伝わるものをお送りください。また、応募者本人が写っている写真を含めてください。

8. ふるさとプロボノの実施を希望しますか? はい・いいえ

★ふるさとプロボノ実施を希望する方は依頼したい作業内容等をできる限り具体的に記してください。新規就農者との連携を図るために、耕作放棄地の活用を検討している。幅広く農業を始めたい人に向けて、情報発信や体験プログラムの利用促進を進めたい、その具体的な方法を検討している。

★ 自己の取組について、外部からの支援が必要な事情や、将来ビジョンがあれば記してください。耕作放棄地を利用した農業体験で作った収穫物等をネット販売するほかに、地産地消へ広げていきたい。どのような方法があるのか、また効率的に実施する方法を研究し実践に進みたい。

★ 記載された内容の利用目的及び第三者への提供 (必ず選択してください)  
申込用紙の記載内容、添付写真、参考資料などは、オーライ!ニッポン大賞の審査及びふるさとプロボノとの連携のためにのみ使用します。そのために第三者への提供を含め使用させていただくほか、本事業の「オーライ!ニッポン大賞」の活動目的である農山漁村の共生・対流の幅広いPRのために、パンフレットや冊子、ホームページ等への掲載に使用することがあることについて、ご了承いただけますか? はい・いいえ

都市と農山漁村の共生・対流の活動における悩みや課題を

# プロボノで 解決しませんか？

オーライ！ニッポン大賞実施20回を記念して、都市と農山漁村の共生・対流の活動をより、促進するために、プロボノの力【特定非営利活動法人サービスグラント様（東京都渋谷区）】を借りて、課題解決ご提案し、農山漁村の活性化と都市と農山漁村の交流を促進します。

特定非営利活動法人サービスグラントは、【ふるさとプロボノ】の活動が大いに評価されて、第18回オーライ！ニッポン大賞 審査委員長賞を受賞しています。



関係人口を増やすには  
どうしたらよいのか？

空家問題や農業ボラン  
ティアの募集や体験者増  
加に向けてのアドバイス

人材育成や後継者育成を  
含めた業務効率化支援

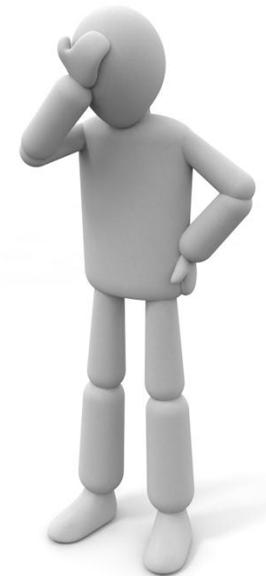
知識や経験豊富なボランティアが、  
あなたの課題解決をお手伝い！

関係人口を増やすにはどう  
したらよいのか？

空家問題や農業ボランティア  
の募集や体験者増加に向けて  
のアドバイス

人材育成や後継者育成を含め  
た業務効率化支援

これからどうす  
ればいいのか？  
うか？



## 認定特定非営利活動法人サービスグラントの【ふるさとプロボノ】について

「プロボノ」とは、職業上のスキル・経験等をボランティアとして提供し、社会課題の解決に成果をもたらすことです。

「ふるさとプロボノ」は、大都市圏のビジネスパーソンやクリエイターなどがチームを編成し、日本各地の地域コミュニティの課題解決や地域経済の自立を応援する地域交流型プログラムです。

認定特定非営利活動法人サービスグラントは、関係人口をいかに増やすか、経済活動をどう維持展開させていくのかといった地域の課題解決に取り組む行政機関、企業、協会、NPO法人、住民自治組織など多様なプレーヤーとプロボノチームのマッチングを行い、具体的な成果物の提供を通じて地域づくりを応援しています。

その実際の成果としては、空き家オーナーの応募が予定の3倍になったり、米粉商品の売り上げが伸びたりと、地域への大きな効果が出ています。

# サービスグラントのプロボノの特徴

NPO・地域団体が抱える運営上の課題解決を目指す「プロジェクト型支援」

1,800件以上のプロジェクト



NPO・地域団体、  
町会・自治会、行政 など



5,500名以上の参加者



20代～60代 企業人等  
営業・システム開発・広報 など

プロジェクト型支援

期間限定・明確な目標設定

支援先団体の基盤強化に役立つ  
具体的な成果物を提供

主な支援分野：  
情報発信・ファンドレイジング  
業務改善・事業戦略等



個人で取り組む



チームで取り組む

# ただ“盛り上がった”では終わらせない！ 課題解決 × 関係人口拡大 を同時に実現

社会や地域の課題解決に向けて、新たな担い手を巻き込みながら、団体の活動基盤強化や新たな活動の創出に向けて重要なカギを握るのが、一定の目標・期間等を定めて取り組む「プロジェクト型協働」です。

